SONY®

ミニディスク
チェンジャーシステム

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、
火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書および「取り付けと接続」には、事故を防ぐため
の重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。
この取扱説明書および「取り付けと接続」をよくお読みのうえ、
製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、
いつでも見られるところに必ず保管してください。

MiniDisc

MDX-65RF

⚠警告 安全のために

ソニー製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

この取扱説明書および別冊の「取り付けと接続」の注意事項をよくお読みください。

道路交通法に従って安全運転する

運転者は道路交通法に従う義務があります。前方注意をおこたるなど、安全運転に反する行為は違法であり、事故やけがの原因となることがあります。

- 運転者は走行中に操作をしない。
- 車外の音が聞こえる程度の音量で聞く。

定期的に点検する

1年に1度は、電源コードに傷みがないか、振動により配線がはずれていないか、接続部分が車体と接触していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら



1. **安全な場所に車を止める**
2. **電源を切る**
3. **お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する**

警告表示の意味

取扱説明書および「取り付けと接続」、製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり自動車に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



火災　感電

行為を禁止する記号



禁止　分解禁止

目次



下記の注意を守らないと火災・感電により死亡や大けがの原因となります。

取り付けはお買い上げ店に依頼する



本機の取り付けには専門知識が必要です。

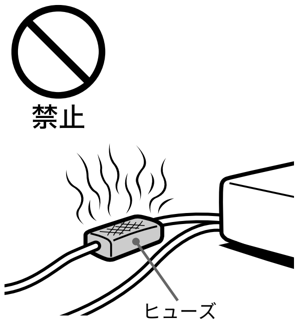
万一、ご自分で取り付けるときは、別冊の「取り付けと接続」の説明に従って、正しく取り付けてください。正しい取り付けをしないと、火災や感電の原因となります。

内部に水や異物を落とさない



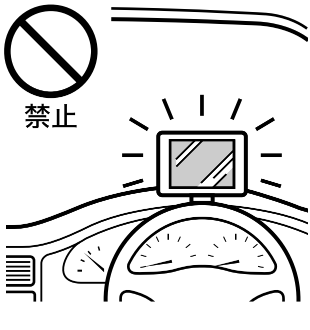
水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

規定容量のヒューズを使う



ヒューズを交換するときは、必ずヒューズに記された規定容量のアンペア数のものをお使いください。規定容量を越えるヒューズを使うと、火災の原因となります。

前方の視界を妨げる場所に、ディスプレイやモニターを取り付けない



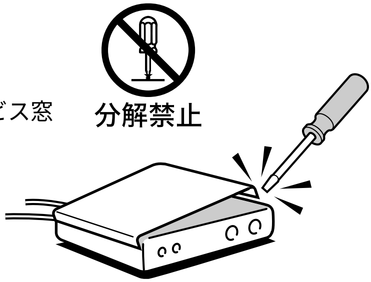
前方の視界の妨げになると、事故やけがの原因となります。

また、取り付ける場所が、助手席用エアバッグシステムの動作の妨げにならないことを確認してください。

分解や改造をしない

火災や感電、事故の原因となります。

内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。

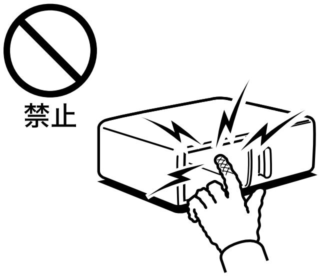


⚠注意

下記の注意を守らないとけがをしたり自動車に損害を与えたりすることがあります。

ディスク挿入口に手を入れない

内部で手をはさまれ、けがの原因となることがあります。



電池についての安全上のご注意

液漏れ、発熱、発火、破裂などを避けるため、下記のことを必ずお守りください。

⚠警告

- 火の中に入れない。ショートさせたり、分解、加熱しない。
- 乾電池は充電しない。
- 指定された種類の電池を使用する。

⚠注意

- ＋と－の向きを正しく入れる。
- 電池を使い切ったときや長時間使用しないときは、取り出しておく。
- 新しい電池と使用した電池、種類の違う電池を混ぜて使わない。

もし電池の液が漏れたときは、電池入れの液をよくふきとってから、新しい電池を入れてください。万一、液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

はじめに

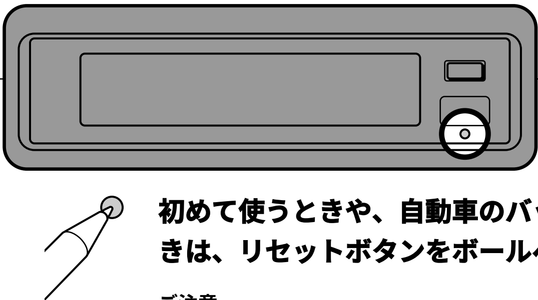
MDチェンジャーの音声をFM信号に変換して送信し、FMチューナーで受信して聞くことができます。

主な特長

- MDの出し入れがより簡単なダイレクトイン方式。
- コンパクトなサイズでグローブボックスやコンソールボックス内など、スペースを有効に利用した設置が可能。
- 連続再生中は、ディスクの交換待ち時間無し。6枚のMDを連続再生。
- 車のイグニッションキーがONのときは内部が点灯し、夜間の操作性が向上。
- 1bit D/Aコンバーターで音質が向上。
- MDチェンジャー内すべてのディスクから、好きな曲を聞きたい順に登録して再生できるプログラム演奏機能に対応。

カスタムファイル機能、プログラム機能付きCDチェンジャーにも対応。

まず、本機をリセットする

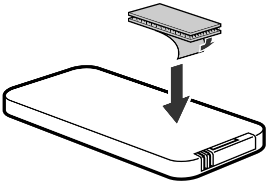


初めて使うときや、自動車のバッテリーを交換したときは、リセットボタンをボールペンの先などで押す。

ご注意

リセットボタンを押すと、時刻の他、登録した内容で消えるものがありますので、登録し直してください。

カードリモコンを準備する



車内に取り付ける

裏面に付属のマジックテープを貼り、操作しやすい場所に取り付ける。

ご注意

- 取り付ける前に、取り付けようとする場所からカードリモコンで本機を操作できるかどうか確認してください。
- 取り付け場所の表面をきれいに拭いてから貼ってください。
- ダッシュボードの上やハンドルの上など、直射日光の当たるところにカードリモコンを取り付けたり放置したりしないでください。熱によりカードリモコンが変形する恐れがあります。直射日光の当たるところに車を駐車するときは、カードリモコンをはずしてグローブボックスの中など直射日光の当たらない場所に保管してください。

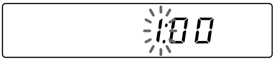
時計を合わせる

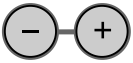




1 **車のキーを**ON**にする。**

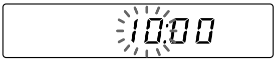
2 DSPL /CLOCK**ボタンを「時」が点滅するまで押す。**





❶ +/–**ボタンを押して、「時」を合わせる。**

（時計は12時間表示）



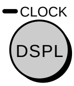


❷ ENTER/DELETE**ボタンを押して、「分」を点滅させる。**



❸ +/–**ボタンを押して、「分」を合わせる。**





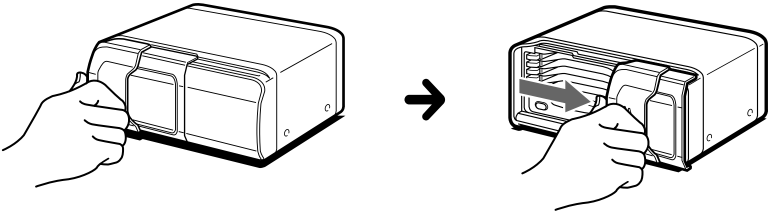
3 DSPL /CLOCK**ボタンを押す。**

ご注意

POWER SELECTスイッチをOFFにしてお使いの場合、ディスプレイの電源が入っていないと時計を合わせることができません。

MDを入れる

1 「カチッ」と音がするところまでドアを開ける。



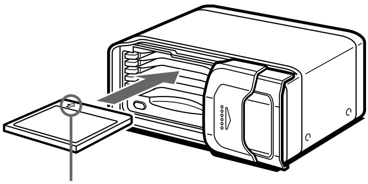
車のイグニッションキーがONのときは内部が点灯します（イグニッションキーがOFFの時には、ドアが開くと約1分間点灯します）。

ドアを開閉するときのご注意

ドアの透明部分を強く押したりしないでください。破損やけがの原因になります。

けがの原因となりますので、チェンジャーの内部に手を入れないでください。

2 「カチッ」と音がするところまでMDを入れる。

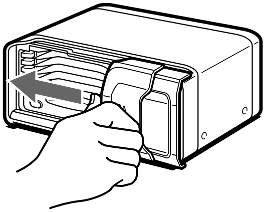


レーベル面を上にして、矢印の向きに入れる

ご注意

MDのシャッターが閉まっていることを確認してから入れてください。

3 「カチッ」と音がするところまでドアを閉める。



ご注意

MDを入れてドアを閉めたときや、リセットしたときは、本機が自動的に動作して、MDの情報を読み取ります。本機内のすべてのMDの情報を読み終わると停止します。その際内部が点滅しますが、故障ではありません。

必ずドアを閉めてください。

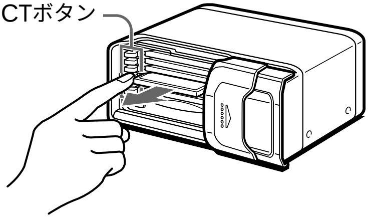
ホコリやゴミが入ると、内部の光学系のレンズが汚れて音飛びの原因となります。また、異物が中に入ると故障の原因となります。

次のページへつづく

MDを入れる（つづき）

MDを取り出すにはEJECTボタンを押す

EJECTボタン



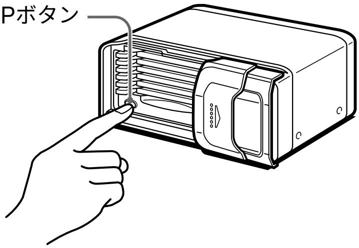
再生をしていないMDはいつでも取り出すことができます。

ご注意

- MDを２枚以上取り出すときは、上のディスクから１枚ずつ取り出してください。
- MDが再生中や読み取り中で取り出し位置にないときは、EJECTボタンを押さないでください。

再生位置にあるMDを取り出すにはSTOPボタンを押す

STOPボタン



MDが取り出し位置に戻ります。
つづいてEJECTボタンを押し、MDを取り出します。

再生中のMDおよび再生位置にあるMDは、この方法で取り出せます。

MDを聞く

別売りのCDチェンジャーを接続することによって、CDも同様に聞くことができます。



エムディーシーディー
MD／CDボタン

オフ
OFFボタン

音量／音質について

カーオーディオ側で調節します。

ご注意

ディスク再生中は、チューナー側を放送局の周波数に合わせても放送を聞くことはできません。

ディスクの再生を止めるとスピーカーからザーという雑音がでます。カーオーディオの音量を下げてから再生を止めるようにしてください。

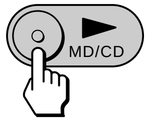
ディスプレイのPOWERボタンを押しても、再生が始まります。

ハイダウェイユニットのPOWER SELECTスイッチをOFFにしてお使いになる場合、停止状態（ディスプレイに表示がない）からカードリモコンで再生を始めることはできません。ディスプレイのPOWERボタンを押してください。

FMチューナーの周波数を88.3MHzに合わせる。

周波数を切り換えたときはその周波数に合わせてください。

MD/CDボタンを押すと再生が始まります





本機でMDチェンジャーを使用するときは「MD」、CDチェンジャー（別売り）を使用するときは「CD」と表示されます。

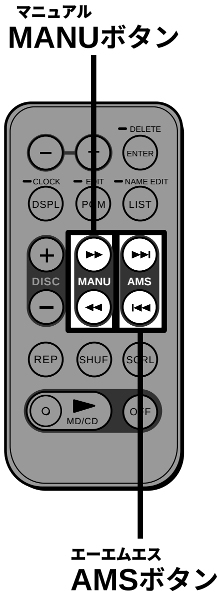
再生を止める

OFFボタンを押します。

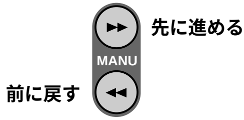
ラジオをお聞きになるときには

OFFボタンを押してからラジオをお聞きください。
本機がONのままだと雑音が入りラジオを聞くことはできません。

次のページへつづく



聞きたいところを探す



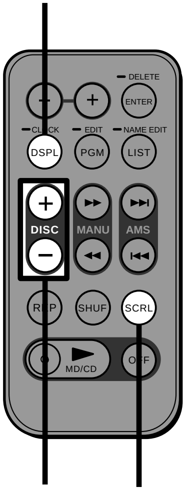
ボタンを押しつづけ、聞きたいところで離します。

曲の頭出しをする



飛ばしたい曲の数だけ押します。

ディスプレイ　クロック
DSPL/CLOCKボタン



ディスク　　　　スクロール
DISCボタン　SCRLボタン

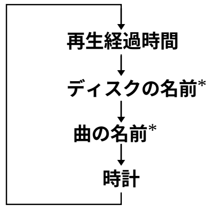
ご注意

CD-TEXTの表示はCD-TEXT対応のCDチェンジャー接続時に表示されます。

表示の見かた

DSPL/CLOCKボタンを押して表示を切り換えます。





＊名前を登録していないときは「********」または「NO NAME」と表示されます。

MDまたはCD-TEXTディスクに記録されている名前をアルファベット（小文字は大文字に変換）、数字、記号のみ表示できます。また、本機でディスクメモ機能（19ページ）を使ってCDに名前を付けた場合には、そちらの名前が表示されます。

長いディスク名、曲名をもう一度見たいときは、再生中にSCRLボタンを押します。



聞きたいディスクを探す



先のディスクへ

前のディスクへ

押した回数だけ、前または先のディスクの頭出しをします。

次のページへつづく



繰り返し聞く

再生中にREPボタンを押し、表示を切り換えます。



REP1: 再生中の曲を繰り返し再生する。
REP2: 今のディスクを繰り返し再生する。
REP3*: 再生中のチェンジャーの全ディスクを繰り返し再生する。
REP OFFにすると、そこからふつうの再生に戻ります。

* REP3はMDチェンジャーを2台以上またはCDチェンジャーを2台以上接続したときに表示します。

曲順を変えて聞く

再生中にSHUFボタンを押し、表示を切り換えます。



SHUF1: 再生中のディスクのすべての曲を順不同に1回ずつ再生する。
SHUF2: チェンジャー内のすべての曲を順不同に再生する。
SHUF3*: 全ディスクの曲を順不同に再生する。
SHUF OFFにすると、そこからふつうの再生に戻ります。

* SHUF3はMDチェンジャーを2台以上またはCDチェンジャーを2台以上接続したときに表示します。なおCD再生中はCDのみ、MD再生中はMDのみで作動します。

聞きたい曲を好きな順番で聞く

プログラム

ディスクの中から好きな曲だけを集めてオリジナルのプログラムを楽しめます。プログラムは、2種類組むことができ（PGM 1とPGM 2）、それぞれのプログラムで聞きたい順番に12曲まで登録できます。1度登録すると、ディスクを入れ換えても、最初に指定した順番のまま再生されます。別売りのプログラム機能付きのCDチェンジャーを接続した場合も、同様にプログラムを楽しむことができます。その際MD/CDチェンジャーの区別なく登録や再生が可能です。

プログラムを登録する



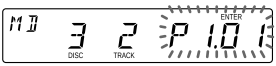
1 PGM/EDIT**ボタンを表示が点滅するまで押す。**



PGM 1**の表示**

PGM 2に登録したいときは、もう1度PGM/EDITボタンを押して「PGM 2」に切り換えます。

2 **登録したい曲を再生する。**



2曲目をPGM 1**の1番目に登録するとき**



3 ENTER/DELETE**を押して登録する。**

次の曲を登録できるようになります。



4 **手順**2**と**3**を繰り返して、好きな曲を聞きたい順番に登録する。**



5 **最後に、**PGM/EDIT**ボタンを**2**秒以上押す。**

ご注意

- 「**WAIT**」：登録した曲の情報を読み取り中の場合に表示されます。
- 「**FULL**」：12曲以上登録しようとすると表示されます。

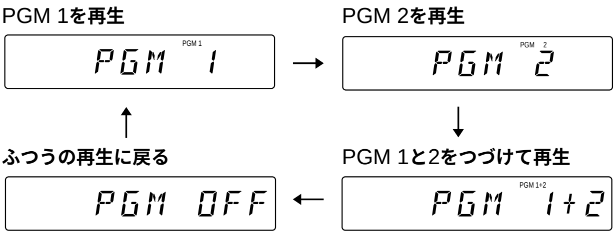
次のページへつづく

プログラム

プログラムを聞く



PGM/EDITボタンを押して聞きたいプログラムに切り換える。



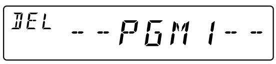
ご注意

- プログラムが登録されていない場合は、「NO DATA」と表示されます。
- プログラムが登録されていてもディスクの情報を読み込んでいない場合は、「NO READY」と表示されます。

プログラムを消去するには

1 PGM/EDITボタンを表示が点滅するまで押します。

2 －ボタンを押して「DEL PGM 1」表示に切り換えます。



PGM 2の場合は「DEL PGM 2」

この段階でPGM 1からPGM 2に切り換えたいときは、PGM/EDITボタンを押します。

3 ENTER/DELETEを2秒以上押します。

「NO DATA」と表示され、指定したプログラムの曲は全て消えます。

4 PGM/EDITボタンを2秒以上押します。

プログラムを変える

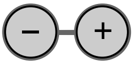
プログラム

曲を追加する



1 PGM/EDIT**ボタンを表示が点滅するまで押す。**

PGM 2に追加するときは、もう1度PGM/EDITボタンを押して「PGM 2」に切り換えます。

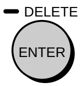


2 **+／−ボタンを押して、何番目に曲を挿入するかを表示する。**



3曲目をPGM 1の7番目に追加するとき

3 **追加したい曲を再生する。**



4 ENTER/DELETE**を短く押す。**

新しい曲が挿入され、それ以降の曲は1つずつずれます。
他の曲を追加するときは、手順2～4を繰り返します。
全体の曲数が12を超えると「**FULL**」と表示されます。

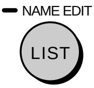


5 **最後に、**PGM/EDIT**ボタンを**2**秒以上押す。**

ディスクを名前で探す

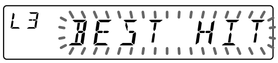
リスト

ディスクに名前がついているMDを再生する場合、名前を見ながら好きなディスクを選ぶことができます。別売りのCDチェンジャーを接続した場合にも、同様にご使用になれます。CDについては、ディスクメモ機能（19ページ）で名前をつけてからこの機能をお使いください。



1 LIST/NAME EDIT**ボタンを短く押す。**

再生中のディスクの名前を表示します。



2 **もう一度**LIST/NAME EDIT**ボタンを押して聞きたいディスクの名前に切り換える。**



3 DISC**ボタンを押して再生する。**

ご注意

以下の場合に表示が出ます。

- 「NO DISC」：ディスクが入っていない。
- 「********」：名前がついていない。
- 「NOT READ」：ディスクの情報を読み込んでいない。

CDに名前をつける

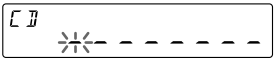
ディスクメモ

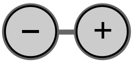
別売りのカスタムファイル機能付きCDチェンジャーを接続した場合にご使用になれます。MDチェンジャーをお使いのとき、この機能はお使いになれません。

カスタムファイル機能付きCDチェンジャーを接続した場合、CDに8文字までの名前をつけ、再生中に表示できます。つけた名前はCDチェンジャーに記憶され、CD110枚分の名前を保存できます。



1 CDを再生し、LIST/NAME EDITボタンを表示が点滅するまで押す。

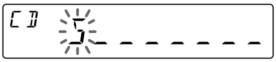




2 文字を入力する。

❶ ＋ボタンを押して、文字を探す。

A→B→C→...Z→0→1→2→...9→+→−→*→／→＼→〉→〈→・→_

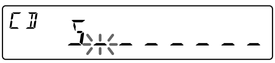


－ボタンを押すと、逆順に表示されます。

文字をあけたいときは、「__」（下線）を入力します。



❷ 文字が見つかったら、ENTER/DELETEボタンを押す。



まちがえたときは、ENTER/DELETEボタンを押して修正したい文字を点滅させ、正しい文字を入れ直します。

❸ 手順❶と❷を繰り返し、名前を入力する。



3 最後に、LIST/NAME EDITボタンを2秒以上押す。

ご注意

MDチェンジャーの場合はMDに記録されているディスク名や曲名（アルファベットと数字と記号）が表示できます。

次のページへつづく

CDに名前をつける（つづき）

ディスクメモ

名前を表示するには



再生中にDSPL/CLOCKボタンを押して、名前表示に切り換える。

ご注意

CD-TEXTディスクにディスクメモ機能で名前をつけた場合はディスクメモでつけた名前が表示されます。また、ディスクメモ機能でつけた8文字以下の名前はスクロールボタンを押してもスクロールはされません。

名前を消去するには

1 LIST/NAME EDITボタンを表示が点滅するまで押します。

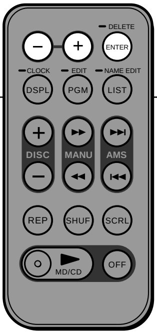
2 DSPL/CLOCKボタンを全表示が点滅するまで押します。

3 ＋/ーボタンを押して、消したい名前を表示させます。

4 ENTER/DELETEボタンを2秒以上押します。

5 LIST/NAME EDITボタンを2秒以上押します。

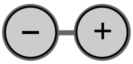
送信周波数を切り換える



本機では、MD/CDをFMチューナーで聞きます。そのため、聞いている周波数にFM放送があると、MD/CD再生中に雑音が入ることがあります。その場合は、本機からFMチューナーへ送る周波数を切り換えてください。初期設定では88.3MHzに設定してあります。



1 ENTER/DELETE**ボタンを**2**秒以上押す。**



2 ＋／ーボタンを押し、周波数を選ぶ。

押すたびに周波数は次のように切り換わります。

ー: 88.3 MHz → 89.9 MHz → 89.7 MHz → 89.5 MHz → 89.3 MHz → 89.1 MHz → 88.9 MHz → 88.7 MHz → 88.5 MHz

＋: 88.3 MHz → 88.5 MHz → 88.7 MHz → 88.9 MHz → 89.1 MHz → 89.3 MHz → 89.5 MHz → 89.7 MHz → 89.9 MHz

3 最後にENTER/DELETE**ボタンを**2**秒以上押す。**

ご注意

- MD/CD再生時に設定してください。
- 切り換え後は、FMチューナーの受信周波数も変更してください。

出力レベルを設定する



FM放送の出力レベルに合わせてMD/CDの出力レベルを3段階に設定することができます。

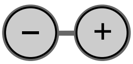


1 ENTER/DELETE**ボタンを**2**秒以上押す。**

2 **もう一度**ENTER/DELETE**ボタンを押す。**



初期値



3 **＋／－ボタンを押して、出力レベルを選ぶ。**

LOW ↔ MID ↔ HIGH

4 **最後に**ENTER/DELETE**ボタンを**2**秒以上押す。**

ご注意

MD/CD再生時に設定してください。

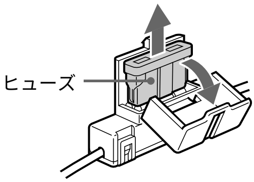
使用上のご注意

ディスプレイの表面を傷めないために

ディスプレイ表面に殺虫剤やヘアスプレーがかかったり、防虫剤などの薬品やゴム、ビニール製品が長時間接触しないようにしてください。本体表面が変質、変形したり、塗装がはげたりすることがあります。

ヒューズについて

ヒューズを交換するときは、必ず、ヒューズケースに記してある規定容量（アンペア数）のヒューズをお使いください。規定容量以上のヒューズや針金で代用すると故障の原因となるだけでなく大変危険です。

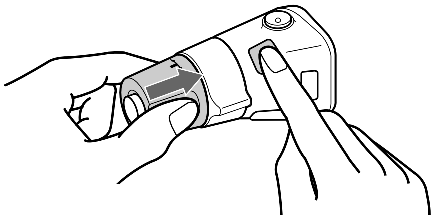


液晶表示について

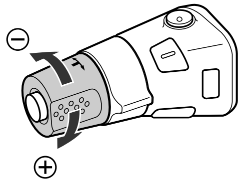
極端な高温または低温のところでは、表示が見づらくなることがありますが、故障ではありません。周囲の温度が常温に戻ると、通常表示にもどります。

つまみの操作方向を切り換える

本機には、別売りのロータリーコマンダー(RM-X3S)を接続することができます。ロータリーコマンダーを運転席の左右どちら側に取り付けるかで、つまみの操作方向を逆に設定できます。
AMSつまみを押しながらPGMボタンを2秒以上押します。



ロータリーコマンダーのつまみの操作方向は、あらかじめ下図のように設定されています。



ご注意
本機でTVチューナーを操作することはできません。

次のページへつづく

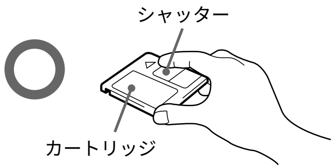
使用上のご注意（つづき）

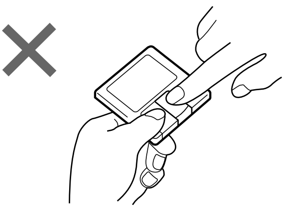
MDの取り扱い

MD自体はカートリッジに収納されていて、ゴミや指紋を気にせず手軽に取り扱えるようになっています。ただし、カートリッジのよごれやそりなどが、誤動作の原因になることもあります。いつまでも美しい音で楽しめるように次のことにご注意ください。

MD内部に直接触れない

シャッターを手であけないでください。無理にあけるとこわれます。





置き場所について

直射日光が当たるところなど温度の高いところ、湿度の高いところには置かないでください。
特に夏季、直射日光下で窓を閉めきった車のシート、ダッシュボードの上などはかなりの高温になりますので、絶対に放置しないでください。

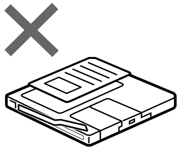
定期的にお手入れを

カートリッジ表面についたホコリやゴミなどを乾いた布でふき取ってください。

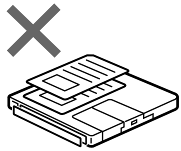
ラベルを貼るときのご注意

ラベルは、カートリッジに正しく貼られていないと、MDがチェンジャーから取り出せなくなることがあります。

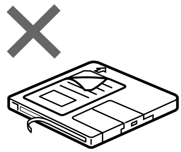
- 指定の場所に貼ってください。



- 重ねて貼らないでください。



- ラベルがめくれたり、浮いているときは新しいラベルに貼り換えてください。



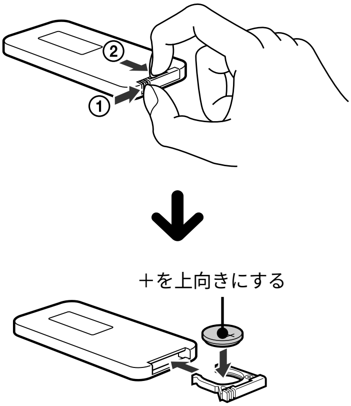
結露について

寒いときヒーターをつけた直後など、MDプレーヤー内部の光学系のレンズに露（水滴）が生じることがあります。このような現象を結露といいます。結露したままですと、レーザーによる読み取りができず、MDプレーヤーが動作しないことがあります。
周囲の状況にもよりますが、MDを取り出して放置しておけば約1時間ほどで結露が取り除かれ、正常に動作するようになります。もし、何時間たっても正常に動作しない場合は、アフターサービスをお申しつけください。

カードリモコン

電池の入れかた

リチウム電池CR2025の⊕と⊖を正しく入れてください。



電池の交換時期

電池が消耗するとボタンを押しても操作できないこともあります。普通の使いかたで約1年もちます（使用方法によっては短くなります）。カードリモコンがまったく動作しない場合は電池を交換し、動作を確認してください。

電池についての安全上のご注意

漏液、発熱、発火、破裂などを避けるため、下記のことを必ずお守りください。

⚠警告

- 火の中に入れない。ショートさせたり、分解、加熱しない。
- 電池は充電しない。
- 指定された種類の電池を使用する。

⚠注意

- ＋と－の向きを正しく入れる。
- 電池を使い切ったとき、長時間使用しないときは、取り出しておく。
- 新しい電池と使用した電池、種類の違う電池を混ぜて使わない。

もし電池の液が漏れたときは、電池入れの液をよく拭きとってから、新しい電池を入れてください。万一、液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

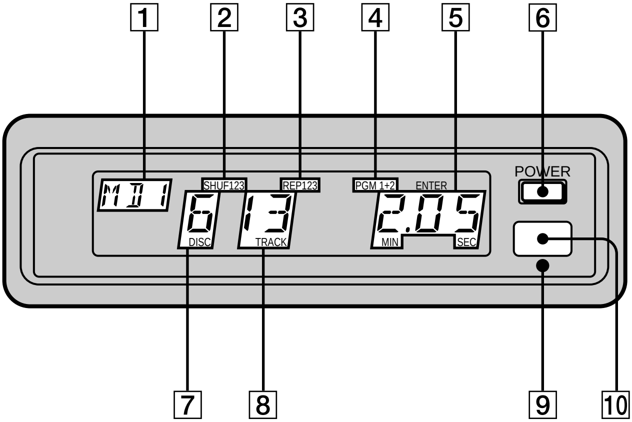
カードリモコンについてのご注意

- ダッシュボードの上やハンドルの上など、直射日光の当たるところにカードリモコンを取り付けたり放置しないでください。熱によりカードリモコンが変形するおそれがあります。（特に夏期の直射日光の当たるダッシュボードの上はかなりの高温になりますのでご注意ください。）
- 直射日光の当たるところに駐車するときは、カードリモコンを取り付け場所から外し、グローブボックスの中など直射日光の当たらないところに保管してください。
- 直射日光下ではカードリモコンの信号が受信されにくくなることがあります。このようなときは、フロントパネルの受光部にカードリモコンを近づけて操作してください。

各部のなまえ

ディスプレイ（XA-2）

●内のページにくわしい説明があります。



1 MD／CD（MD/CDチェンジャー番号）表示

2 SHUF（シャッフル演奏）表示

3 REP（リピート演奏）表示

4 PGM（プログラム演奏）表示

5 **演奏経過時間表示**

6 POWER（電源入／切）ボタン ⓫

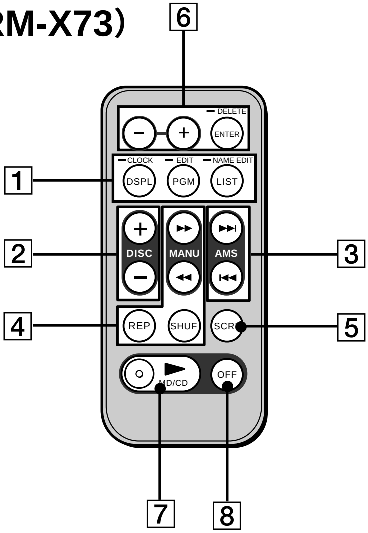
7 DISC（ディスク番号）表示

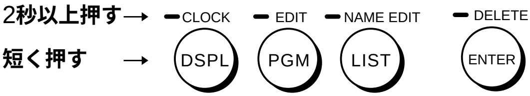
8 TRACK（曲番号）表示

9 **リセットボタン ❻**

10 **リモコン受光部**

カードリモコン（RM-X73）





上のボタン類はひとつのボタンで2つの機能を持っています。ボタンを短く押すと、ボタンに表記してある機能が働きます。また、ボタンを2秒以上押すと、上に表記してある機能が働きます。

1 DSPL（**表示切り換え**）／CLOCK（**時計合わせ**）**ボタン** ❽⓭⓴

PGM（**プログラム演奏**）／EDIT（**プログラムエディットモード**）**ボタン** ⓯⓰⓱

LIST（**リスト表示、リスト表示選択**）／NAME EDIT（**ネームエディットモード**）**ボタン** ⓲⓳⓴

2 DISC（**ディスク選択**）**ボタン** ⓭⓲

3 AMS（**曲の頭出し**）**ボタン** ⓬

4 REP（**リピート演奏**）**ボタン** ⓮

MANU（**早送り・早戻し**）**ボタン** ⓬

SHUF（**シャッフル演奏**）**ボタン** ⓮

5 SCRL（**表示送り**）**ボタン** ⓭

6 ＋／－（**文字選択、プログラム選択、時刻設定、周波数設定、出力レベル設定**）**ボタン** ❽⓱⓳㉑㉒

ENTER/DELETE**ボタン** ❽⓯⓰⓱⓳⓴㉑㉒

7 MD／CD（MD/CD**再生**／MD/CD**チェンジャー選択**）**ボタン** ⓫

8 OFF（**電源切り**）**ボタン** ⓫

付録

故障かな？

下記の処置を行っても効果がないときは、接続に問題があるか、故障と考えられます。
お買い上げ店またはお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

症状	原因・処置
操作ボタンが動かない。	• 内蔵のマイコンが誤動作している。 **→ディスプレイ右側のリセットボタンを押す。** • 接続コード類がしっかり差し込まれていない。 • カードリモコンの電池が消耗している。 • カードリモコンとディスプレイが離れすぎている。
音がとぶ。音が途切れる。 音が割れる。	• ディスクがひどく汚れている。**→ディスクをクリーニングする。** • ディスクが傷ついている。**→他のディスクを再生する。**

MD/CDのエラー表示

MDチェンジャーや別売りのCDチェンジャーが誤動作すると、エラー表示が5秒間点滅します。

エラー表示	原因	処置
NO MAG	ディスクマガジンがCDチェンジャーに入っていない。	ディスクマガジンにディスクを入れCDチェンジャーに入れる。
NO DISC	チェンジャーにディスクが入っていない。	ディスクを入れる。
ERROR	CDが裏返しになっている。	CDを正しく入れ直す。
	CDが汚れている。	CDをクリーニングする。
	MDが何らかの原因で再生しない。	ほかのMDに入れ換える。
RESET	何らかの原因でチェンジャーが動作しない。	ディスプレイのリセットボタンを押す。
BRANK	MDに何も録音されていない。	ほかのMDに入れ換える。
NG DISCS	チェンジャー内のディスクが何らかの原因で全て再生できない。	ほかのMD/CDに入れ換える。

保証書とアフターサービス

保証書（別に添付）

保証書は、所定事項の記入をお確かめのうえ、お買い上げ店からお受け取りください。内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

保証期間

お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

修理を依頼される前に「故障かな？」の項目に従って、故障かどうかをお調べください。直らないときは、お買い上げ店、またはお近くのサービス窓口（別紙）にご相談ください。

保証期間中

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。

保証期間を過ぎたら

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間

この製品の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。

部品交換について

この製品は修理の際、交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品はご同意をいただいた上で回収させていただきますので、ご協力ください。

主な仕様

MDチェンジャー（MDX-65RF）

型式	ミニディスクデジタル オーディオシステム
周波数特性	10Hz～20,000Hz
ワウ・フラッター	測定限界以下
SN比	95dB以上
出力端子	バスコントロール出力端子（8ピン） アナログオーディオ出力端子（RCAピン）
消費電流	500mA （ディスク再生時最大値） 600mA （メカ動作時最大値）
使用温度範囲	–10℃～+55℃
本体寸法	176×83.5×142 mm （幅／高さ／奥行き）
質量	約1.1 Kg

ハイダウェイユニット

使用周波数	88.3 MHz/88.5 MHz/ 88.7 MHz/88.9 MHz/ 89.1 MHz/89.3 MHz/ 89.5 MHz/89.7 MHz/ 89.9 MHz（切り換え式）
寸法	約124.8×30.0×99.8 mm （幅／高さ／奥行き）
質量	約330 g

ディスプレイ（XA-2）

寸法	約120×37×18.5 mm （幅／高さ／奥行き）
質量	約115 g

カードリモコン（RM-X73）

寸法	約40×6.5×86 mm （幅／高さ／奥行き）
質量	約20 g（電池含まず）

その他

付属品	取り付け/接続部品（一式） 取扱説明書（一式） ソニーご相談窓口のご案内（1） 保証書（1）
別売品	アンテナ変換コード RC-50、RC-185（欧州車用） RC-150GM、RC-160GM（アメリカ車用） XA-82（日産ダイバーシティ採用車用） ロータリーコマンダー RM-X3S ソースセレクター XA-C30 CDチェンジャー CDX-737、CDX-838（10枚） CDX-T602（6枚） バス／RCAピン延長コード RC-87(2m) MDチェンジャー MDX-65 ノイズフィルター XA-50

本機の仕様および外観は、改良のため、予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

索引

保証期間中の操作や取り付け・接続、故障に関するお問い合わせは

テクニカルインフォメーションセンターへ
（モービルエレクトロニクス専用）

0120-64-0131（フリーダイヤル）

ソニー株式会社〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ

● ナビダイヤル…………… 0570-00-3311
（全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます）
● 携帯電話・PHSでのご利用は… 03-5448-3311
● Fax ……………………………… 0466-31-2595

受付時間：
月〜金
9:00〜
20:00、
土・日・祝日
9:00〜
17:00

Sony online　http://www.world.sony.com/

「Sony online」は、インターネット上のソニーのエレクトロニクスとエンターテインメントのホームページです。

この説明書は再生紙を使用しています。

Sony Corporation　Printed in Japan

I-3-046-147-02(2)